

バストス週報

第1377号
昭和四十八年
九月十日
月曜日発行
Diretor
Koiti Mori
Redator
Shion Oda
Rua Pres.
Vargas 188
C. Post. 112
Fone: 4 0
BASTOS
C. E.
Annual
Cr. #
30.00
Adiant.

水紋 37 第一話 カンボジヤの情勢

ベトナム戦争が終つて、越境を開いたと思つたら、引続いてラオス、カンボジヤが騒ぎ出した。何れも共産軍のなぐり込である。そうして彼ら共産の後押しをして、いるの。直接にはハノイ軍であらうし、間接にはベキン政権であらう。それを見越してか、アメリカはしまこりもなく空軍を以つて後押し、戦争資金を貸して政府軍へ「民主」を鼓舞している。ここ一カ月はかり前カンボジヤの首都プノンペンが共産軍に包圍され、陥落寸前のものであったが、市街戦になつたという報導はなかつたようである。政府軍の首魁は口ソノル將軍だが、アメリカの空軍の後助で、どうやら持ちこたえている状態だらう。

ところが奇怪なことに、アメリカは共産軍への爆撃を突然やめてしまつた。よく判らぬが、何月何日までで軍事援助をやめることをアメリカ政府は議会から強制され、ぎりぎり一杯の線まで共産軍に引いておいて、手を引いたものであらう。又は、おそくも何月何日まで共産軍を殲滅するつもりであつたのだらう。日本のような島国だと、共産党が軍事行動を起したくても、武器の供給を外國から仰ぐことは困難だが、東南アジア諸国は陸つづきで、いずれも北部が共産、南部が民主だから、南部の政府軍にまけない武器兵糧を中共から補給してもらつて、ことが出来る。

カンボジヤ、ラオスの政情が動搖するのは、北部に蟠居する共産軍のある限り平穩にはならないし、これを討伐できない限り、遂には赤化されてしまふであらう。(この稿二頁上段の終りの方へつづく)

第二話「ペカンの話」

過日、プ、ブルデンテの草原さんがイタリア葡萄とペカンを土産に下さつたが、ブドウの方は時々入手するので珍らしくはなかつたが、ペカンは珍らしくなつた。ペカンはクルミの種類ださうで、栗、松の実、カシウの実とよく似ていた。栗物というより、食品の一種と考える方が判りやすい。栗の他は茹でるか焼くかかするが、ペカンは生食である。厚い皮殻に包まれているので、裂け目

SPER-MEROADO CASA TARODA

太郎田商店

スベルメルカード
電話十六番



味の素
秤り売いたします

沢山使用されるお方には
値段も破格ですから
大変お徳でございます

何キ口でも御注文に応じます

をマルテロ口で叩くと、中から濃皮をかぶつた果実が出てくる。その実たるや、人の頬の如く皺だらけで、濃皮が凹みに深く喰いこみ、指先きをとるなど思ひもよらず、濃皮のまま口に入れてしまふが、さして皮の味は邪魔にはならず、幾分甘味もあり、照り分が豊かで、一度に十数個たべると満腹感がある。

十数年前故奥田氏がペカン苗を発売したとき、思本に数個もらい、おもしろい食品だと思つたが、カスターニア、カシユイのように、実がクルリとしていて、マイルス、ボンビヤなどと去つたら、奥田氏は、皺がいいのです。時間をかけてボツボツ食べておると、食率代用になる。蛋白質、ビタミン、脂肪、何れも充分にあるから、下手なアルモツワヤシマンターよりうんと栄養価がある。

ペカンだけで生活をすると時代が来まよ。と大いにペカン礼讃をやつて私は胆を抜かされたことがある。

そう思つて食べると、中々コクあつて、いい味だが、米の飯に別れてはなれは、ペカンだけで生活する気にはなれない。

バストスではペカン樹を植えている人

は多くないと思うが、先日の日毎紙には
ブ、プレシデンテの柿原農園のペカン園
の寫真が出ていて、草原さんから貰った
ペカンの事から思い出し、大変興味をも
って記事をよんだ。

柿原さんは、梨、桃、その他上等の果
樹園をすっかり伐り倒して、ペカン園に
してしまつたということだ、いかにペカ
ンを重視したことか、ペカンの将来に
望したかに一驚したのである。これは、
もう試植時代ではない、出荷先のコチア
産組から、もつと増産せよと註文のほげ
しいことも書いてあつた。

マルテロ口で割つて、私がやつたよう
にそのまま食べるものか、外に加工して
食品にするのか知らぬが、こういう食品
が実生活に不可欠となるものなら、プロ
ヅソンとしては最も我が意を得たもの
と思われろ。

写真で見ると、七八年の珈琲樹ぐら
だが、いずれ大木となるのであろう。剪
定して大樹にせぬようにするようにして
も、三角梯子で採集し、地に落ちていた
ものでけなしに、干燥して、サツコに詰
めれば直ちに発送できる。袋かけ、箱詰
め、その代の手数は省け、貯蔵に耐え
送も楽だとすると、安全度が100%である。

いつも、くり返す様だが、ペカンは
養鶏の副業に適當な作物ではなからう。
ひろく何十アルケール定植するなら
は別であるが、数百本なら、あえて懸念
する程のものではないだろう。あらため
て敷路を研究したり、技術的に経営が困
難だという程のものでもないようである。
柿原農園でも鎮国的な態度のないこと
は苗木を分譲するといつてゐる位だか
ら、旁々視察をかねて様子を調べたう
どんなものであろうか。

農業園外の者からの提案で、諸家を動
かす力はないかも知れないが、100年の
計は樹を植ゑるにありの古言を味つて
みることも無駄の努力ではないだろう。

第二話「カンボジアの情勢」のつづき

ソ連でも中共でも、共産党が政権を握
つたのは、自国が戦火で乱れてゐるド
クサにまぎれた時である。ロシアでは、
第一次大戦後の政治不安期であつたし、
支那では第二次大戦で滿州の日本軍が姿
を消して蒋介石が一時政権をとつた時
に毛沢東軍が西域から東漸して遂に中共
は覇を打ち立てた。

兵力を以つて共産国を打建てたのは、
ソ連と中共が腕を示したようなものだ。
ベトナムでは、ハノイがパリ條約を破つ
てサイゴンに迫つたが、アメリカの介入
でサイゴンは助つた。しかし、

ORGANIZAÇÃO RIOBRANCO S/C ADVOCACIA CONTABILIDADE E DESPACHOS

法律案内

使用人の
雇傭契約を

確実にしておくこと

いざこざが起きないように
するには「契約書」が大切で
す

労働法。民事。刑事法

會計事務一切

農家も帳簿を確実に！
一切は当事務所へ御相談く
ださい。

プレシデンテウアルガス街一八九番

DR. 石川 雅宏

DR. 小林 平行

郵函 一〇三番
電話 一〇五番
一八〇番

自らがベトナムのようには共産党によ
て解放されてしまつた、誰も保証は出
来ぬ。東南アジアは、おそろしく将来赤化
されてしまふ運命にあるのではなからう
か。赤化されるのが不幸であるか、な
いかは、必ずしも前定でない問題だろ
う。
千里は選挙によつて共産党が克ちとつ
たが、ご存知のようになりインテリゲン
チアが、お義理にも共
産党万歳とはいえない。

結局、共産であれ民主であれ傑出した
人物が主導権を握らねば、だめだとい
うことになる。カンボジアでいえば、共
産のシアヌーク殿下、と民主のロンノ
ル将軍のどつちが主眼があるかといふこと
だし、後援側では中共、アメリカがど
ちに援資するのが損か得か。議会制度の
アメリカがニクソンの戦費を削つてしま
うのがよいが、中共のように、党の方針
で自由の付送りできる国がよいが、カン
ボジアその他は、そういう試験台である
と言えそうだが、第一話、終り

糸音

「お父さんは、自分の子供さえ分らなく
なつてしまつたが、昭子さんだけ分るの
よし、京子は、ほづんと言つた。
昭子は聞かないふりをしていた。
食卓の後片付けも京子は手傳わなかつた。
昭子は流しで水を使いながら、小姑
に風呂が沸いていると告げたが、京子は
「今日は疲れたから入らないう。」
「でもお爺ちゃんがお葬式の前からず
つとお風呂に入つてないんですけどねえ
昭子としては湯の鉢を洗つてという仕事
は、やりたくない。ことに今日は京子の
口から何度も、茂造は昭子が好きなんだ
と言われた後である。
「そうねえ、でもお父さんも疲れてるん
ぢやないかしら。何しろ寒い勢いで歩い
たのよ。私ほどぢやないにしても、くた
びれていると思つたわ。」
「お湯に入つて疲れが出てもしりません
ね。」
「そうね、もう連れてつて寝かせろわよ
。私も横にならいたいわ。」
京子は離れへ行つて寢床敷いて戻つて
来ると、
「お寒い。あつちが火の気がないのよ
、嫂さん。この石油ストーブ借りてつて
いい？」と訊く。
「はい、じゃ私がストーブを持ちますか
ら、お爺ちゃんをお願いします。」
「お父さん、お父さん。」
京子が乱暴に揺り起した。
「眠いんだつたら、ちゃんと寝かしたげ
るからいらいしやい。」
茂造は疑い深げに京子を見上げていた
が、視線を昭子に移すと、ゆっくり立ち
上つた。
「ほうね、昭子さんだけ信用してゐるん
だから。」
言うだらうと思つた通り、京子を京子
が言つた。昭子は石油ストーブを抱えて
庭先に離れに向いながら、ストーブで
は火の用心が悪いのではなからかと思つた。
京子が茂造を寢巻に着替へさせている
間に、昭子が小さなお膳手を採ると、床
下に炭が入つていた。狭い三和室の片隅
に火を起して十能が立てかけてあつた。
昭子の家ではもう数年もこうした古典的
な暖房具は使つたことがない。一つだけ
のカスコン口に点火して、火起しに炭を
積み上げてのせた。老夫婦がよく言え
ば小じんまりと、悪く言えば佝偻しく暮し
ていたのを身にしみて思つた。昭子はこく
なつた茹に、自分が詫びたい気持ちを抱い

「お父さん、お父さん。」
京子が茂造の枕元に坐つて、同じ感想
を述べた。
「お寒い。あつちが火の気がないのよ
、嫂さん。この石油ストーブ借りてつて
いい？」と訊く。
「はい、じゃ私がストーブを持ちますか
ら、お爺ちゃんをお願いします。」
「お父さん、お父さん。」
京子が乱暴に揺り起した。
「眠いんだつたら、ちゃんと寝かしたげ
るからいらいしやい。」
茂造は疑い深げに京子を見上げていた
が、視線を昭子に移すと、ゆっくり立ち
上つた。
「ほうね、昭子さんだけ信用してゐるん
だから。」
言うだらうと思つた通り、京子を京子
が言つた。昭子は石油ストーブを抱えて
庭先に離れに向いながら、ストーブで
は火の用心が悪いのではなからかと思つた。
京子が茂造を寢巻に着替へさせている
間に、昭子が小さなお膳手を採ると、床
下に炭が入つていた。狭い三和室の片隅
に火を起して十能が立てかけてあつた。
昭子の家ではもう数年もこうした古典的
な暖房具は使つたことがない。一つだけ
のカスコン口に点火して、火起しに炭を
積み上げてのせた。老夫婦がよく言え
ば小じんまりと、悪く言えば佝偻しく暮し
ていたのを身にしみて思つた。昭子はこく
なつた茹に、自分が詫びたい気持ちを抱い

求人

サンパノロ市 Rua General Carneiro 273

パストラル・ジュゼニナ

レストラランテ

横山 孝

住居 Rua Pires de Motta 404

右の店を働いて下さる学生又は三十
歳以下の青年、

○ 住込み 食事付、四百クルゼーロス

○ 昼の部、夜の部

○ 通学の便あり

○ 六名入用

希望者は直接、横山方をお訪ね下さい
又は様子を知らりたい方は「西徹」まで

SUPERAGI

この味です。最高の調味料



SUPERAGI
GLUTAMATO
MONOSSODICO
99%

遠藤貿易株式会社 聖市輸入元

協和醗酵工業株式会社 東京製造元

を抱いていた。
「お母さんが死んだっていつから上京したんだのにお母さんが死んだことより大変なんですよものねえ。お父さんは自分でどの位分ってるのかしら」
炭をつぎ終って火に灰をかけ、鉄瓶を五徳にのせながら、昭子は背いて、しんみりした。
「お母さんはよく話してたんですけど、なんにも愚痴を仰言らなかつたから、私たち何も知らなくって」
「今日みたいなこと、前にもちよくちよくあったんじやないのかしら」
昭子は雪の日に道で茂造に出会ったことを思い出して、
「か、知れませんね」
「お、さんはいくたびも果てて死んじやったんじやないのかしら」
京子は言つて溜息をついた。
ある姑の写真を言葉もなく眺めてからう、やはり溜息をついて眠っている茂造の顔を見た。茂造は安らかに、安らかに寝息をたてていた。若い頃はどんなに端麗な美貌であつたらうかと惚けられる形はい鼻と唇、頭もそれほど禿げなくて、誰からも七十前後と思われていた。髪は、黒い方が多いのである。考えてみれば、八十過ぎても髪が黒いというのは、驚く

べきことであつた。それだけ見詰こいると生命力というものの強さが迫ってくるよ
うだ。
「お爺ちゃんも若いとき美男だつたんでしようね」
「それが胃腸が弱くて瘦せこけていたし、意地の悪い目付だつたでしよう。それほどでもなかつたんじやないの。もっともお母さんは一目惚れでお嫁に来たつて話もあるけど」
「や、やはり美男だつたんですよ」
「いくら美男だつたつて、この有様じゃあな」
どうしようもないと言つて京子は笑つたが、こういうところで笑える京子の神経が昭子には理解出来なかつた。が、何か言つて、またさつさの京子の思いつきを蒸しかえされただけは嫌だつたので、昭子は黙つて立ち上つた。一つしかない石油ストーブを持って帰らなければならぬ。
初七日には近所の人たちが忘れずにお詣りに来てくれて昭子は有りがたかつた。遠くの親類より近所の他人というの、このことだと思つた。京子が朝日の朝帰つてしまえば、茂造について相談にのつてくれるのは近所の人たちである。
木原夫人が言つた。

楽しい

日本への観光旅行は是非
皆様の旅行社

ウニベルツル社を

御利用下さい

来春三月末櫻の日本へ!!
73年沖縄海洋博には

特にバストスの皆様のグループを募集
致して居ります

申込みはどうぞ当市連絡店・前山義雄まで御申
込下さい

旅券収得迄の一切の手間をはぶくよう全部お世
話致します。又御旅行に付いての御注意もくわ
しくお話ししますから是非お気軽に御来店下さい
ますよう。飛行賃は月賦支払いの方法もあります

ウニベルツル旅行社

連絡所

前山商店

「門谷さんのお婆ちゃんにお頼みになつたらどうかしら。御用がないんだし、力がたし、かりしたお婆ちゃんだから、頼め、言んでやってくれますよ、きつと」と言われた通りに門谷家の老婆に頼んでみると、顔中の皺を得意そうに動かして、り出して来た。

未亡人会は男子禁制ですけどね、私は梅里の老人クラブの会員ですからね、おいして出かけてみましようかね、いいえ、町内ですよ、すぐそこですもの、心配ありませんよ、でも、初七日がすんだばかりでそんなことをしたら奥さんが焼餅やくんじやないでしようかねえ、しなを作り、かさかさ乾いた指先さ、口許を押さえ、喉から声を出してひやひやう笑う。昭子は内心で驚いてしまつた。恐ろ恐ろ切り出したのにお婆ちゃんの方はまるで、テートの相手でも約束したように浮きうきしている。木原夫人にぞつと門谷未亡人の年齢を訊いてみる、七十三か三か、その辺だろうということだった。

著者 有吉佐和子

思い出のピアード

海野 生

或る友人が、君は永い訪日旅行中まごか精進を通したわけでもあらず、あれ半を少し書けと言うのです。私共の群、高年齢、層の者には体験も少く、資料に乏しいので、書く資格はありませんが、日本では其の語は沢山聞かれました。何処ぞこの後家さんが小供を産んだとか、誰ぞその娘さんが墜落したとか、夜道に行つて、梯子段から転げ落ちたとか、昔も今も変わらない様です。

若返つて昔の思い出を書くと、長生の原因となるかも知れません。奥めに従つて書いてみましょう。

私達が日本に着いた当座困つたのは、日使う言葉にブラジルの単語が混じるので、訪の後で説明せねばならぬことです。例えば、アグア・アルモッサ、オニブ等です。これから書きたいと思つて、マラッという名前が其の主人公なので、

婦伯問迎くなつて、荷物が多くなつたためマラを買わねばなりません。友人に力を頼んだら、何ノマラを買うノ、君はマラを買う立場でなくて、マラを売るのではなにか、マラを買うのは女の方だ、というのです。それも戦後売春禁止法、それも公然とは行われないと云うのです。

此のマラに關係して思い出があります。

御案内

九月十五日 午後一時から

おぼん法要勤修

晚は ぼんおどり

九月十六日 午後一時半から

萬鷄菩提供養法要

渡辺文昭 開教師

水野・古賀、各師にて執行

晚は ぼんおどり

他寺からも多数御参加なさいまして、あなたの献燈なさいました万燈に灯が入つて幾百千の人波でにぎわいます。

おたのみ

献灯。献華を納めて下さい

一九七三年九月五日

バストス南米本願寺

皆々様

毎週土曜日の夜は、ぼんおどりのけいこがありますから、みなさん、おいで下さい。

金一封 御礼

奥田氏家臣の香典返しに代りとして御寄付下さいました。厚く御礼申上げます。バストスPL教団

奥田波子様

金一封 御礼

右補助金を下しました。ありがたく御礼申上げます。ウニオンⅡ男女青年団

入植祭々典演芸部御中

今から半世紀以上も前の事で、私が十四五歳の時の出来事です。主人公は友人の中村新吉君です。

中村君の家は貧乏で、十四、五歳のとき石屋へ弟子入奉公して居りました。昔は、夏の暑い気節になると、昼休みと云って、日中二、三時間昼寝をする習慣がありました。中村君もこの時間を利用して昼寝をしておりました。長く眠っているのを見定めて、その場に居合せた三、四人の悪童共が集って中村君のマラの根元をの部分にバルパンテで結びました。その結び方は、わき掛けという結び方で、引けば長く程しまる結びだったのです。バルパンテの片方の端は脚の親指にむすび付けました。中村君は未だ眠りからさめません。

「おい、新公、起きろッ火事だッ！」と驚いて立上りました。結果は説明するまでもありません。早速医者を迎えましたが、糸は深く喰い込んで、彼の一物は勢血して棒のように太くなり、何とも手のはどこし様もありません。中村君は大声で泣き叫ぶのです。

その当時自動車の無かった時代で、人力車で五里(二十キロ)の道を病院まで連れて行きました。私もその時の悪童の一人でした。

過ぐる訪日の節、中村君に会いました。今は十数人の孫も在り、健康で、あれの方も忘れず勤めていと云って居りました。持参の土産品を呈しました。

私共が訪日して歩いた日本の農家の殆どが昔のままの古い住宅で、全部畳敷の住宅です。奥の間が八畳で次が六畳、その次が四畳半というよう間取りで、その間仕切りは建具の唐紙や障子です。

二組の夫婦に子供二、三人が家族の標準です。このような事情の世に割り込んで行つて満足なあれを要求することは無理というものです。此の方面は改良されおられません。文化経済が優先というのです。私共は兎に角結婚早々の夫婦の爲めに何とか工夫しなくてはなりません。

同情に耐えない次第です。旅行中地方の温泉を見学しましたが、男女別の風呂ではその實際を見る機会はありません。あるべき処に無い御婦人が相当多い様です。不足しているものを補いたいのは人情です。植毛でも何でも宜しい。谷の両側の盛上りに黒々と生い繁っているのは頼しいが、その反対に貧毛なのは氣を感じます。頭のツルツルに禿げたのは美しいと思ふ事もあり。高き山に登る登山家も、深い谷には興味を持って居るようです。

完

独立祭

ブラジルが、ドン・ペードロ皇五に上つて、ホルドガル植民地から独立したのは一八二二年九月七日で、一五一年前のことである。その頃ブラジル人のほとんど全部は独立希望をしていたので、非常に喜んだが、ホルトガル人たちのブラジ滞在者は、ブラジルの独立に反対していた。

ドン・ペードロ皇太子は独立を望むブラジル人の味方であることに不満で各地で、各州各地で意見が必ずしも一致しては、いたわけではなく、北部では、共和制がなくてはいかぬといひ、南部では、独立さえすれば帝政でもいいという主張であった。

ドン・ペードロは、独立する以上、すべてのブラジル人が協力一致する必要があると考へた。独立前八月、サンパウロに赴き、団地結を計り、又、サントスへも出かけ、その帰途イピランガの丘にさしかかた時、リオデジャネイロからの急使に出会った。この使者はジョゼ・ボニファシオからの手紙と、ドン・ペードロにホルトガルへ帰還せよと命ずる父王の書簡の二通

MACVETTI LTDA

AGENTE EXCLUSIVO OLIVETTI



MAQUINAS DE ESCREVER SOMAR E CALCULAR.
MANUAIS ELETRICAS E ELETRONICAS
"OLIVETTI" ASSISTENCIA TECNICO ESPECIALIZADA PERMANENTE
BASTOS - Rua 10 de Novembro 551 Fone 388 C.P.9
TUPÁ - Rua Caetes Nº679 Fone 2526

計算機 電気計算機 タイプライタ フィットタ各種
電気タイプライタ フォルミカ事務机 アルキーボ
コ (金庫) 等々

ATENÇÃO BASTOS E REGIÃO 林 広 人

をもつて来たのだ。ジョゼ、ホニファシ
 王は、皇太子を引きとめて独立後のブラ
 シル帝主に推さんとする急進派だから、
 今、ドン、ペードロに、ホルトガルに帰国
 されては大変と、速刻独立宣言をしてい
 ただき度いと、一大決心を促したのであ
 る。

ドン、ペードロは手紙をよみつつ心に
 決するところが、帽子からホルトガ
 ルの房飾をひきちぎり、
 「独立か死かし」と声高に叫んでブラジルの
 独立を宣言した。イピランガの血の独
 立宣言図は、その時の光景を感激的構図
 を以って表現している。

ブラジルが独立するまでの情態

ブラジルは、ホルトガル植民地時代は
 本国派遣の総督によって統治されてい
 た。まあざつと、日本帝国派遣の大將級の
 総督に治められた朝鮮半島や台湾人みた
 いなわけであつた。政治的は勿論、言論
 にも制限があり、本国人とは全く差別さ
 れ、不平を言えば、軍隊と警察にがんじ
 がらめにされて居るので、心ある者は血
 涙を絞つていた。自由を求め、志を立ててブラジルに渡
 ってきた者と、その子供たちが、苛税に
 なやまされ、虐政にあえぐ有様に憤激し
 たのは当然であらう。それと、ホルトガ
 ルから来ている連中の傲慢無礼、ブラジ
 ル人を軽蔑する態度は、我慢のならぬも
 のがあつた。

十八世紀の末、フランスはナポレオン
 一世皇軍が欧州全土を侵略して居たが、
 イギリスには手を焼いていた。イギリス
 を孤立させるために、欧州各国で英貿易
 禁止令を出したが、ホルトガルはこれに
 応じなかつたばかりか、英仏海軍の
 国を扶けて、仏艦隊に打撃を与え、
 ナポレオンは激怒してホルトガルに
 軍をさしむけた。

当時のホルトガルはドン、ジョアンの
 政政治であつた。十五、六世紀時代
 ホルトガルは小国をいへ、欧州の先進
 国として繁栄していたが、ドン、ジョアキ
 ノ時代には国力衰退して、ナポ
 レオンの軍隊と戦う力はなかつた。さ
 りとてナポレオンに降伏するのむいまいま
 しく、各地にある広大な植民地を強軍な
 英海軍に侵略される憂いもあつたので、
 ドン、ジョアンは、イギリスの助けをが
 りてホルトガルから脱出する決心をした。

皇室、及び政府を植民地ブラジルに移
 すことにした。一八〇七年十一月二十九日
 ホルトガルの皇族、貴族、政府の大官、
 將軍は護衛艦を率い一万五千人の大移動
 隊は、イギリス艦隊に守られて、首都リ

FABRICA DE GRANITO
 Av. Rio Branco nº C. Post. 23, Fone 515
 ADAMANTINA SP.

大西石磚工場
 古い墓の修理も致します
 石材美術彫刻類一切製作
 胸像 石燈籠
 墓 碑 記念碑
 日本式及ブラジル式
 大西文吉
 大西石磚工場
 電話 五二五番

去る人植祭演芸会に、私共婦人会が
 出演いたしましたところ、記念写真
 を撮影して、一同に花の代りとして
 御寄贈下さいました。
 ありがとうございます。
 ウニオンII区婦人会
 島本写真館 様

LAVA JATO
 SESQUICENTENARIO Fone; 371

超 速 自 動 車 洗 滌
 わずか三分間であなたの自動
 車がピカピカになります。
 トロッカ オーレオ
 エン グラッシュマー
 ラヴァ ジヤット
 最短時間で洗滌、注油
 給油の一切の御用が達
 せられます
 ドッキデカシマス街
 演舞場のとなり
 ラウア ツマツト
 センテチリオ
 電話 三七一番

スポンをのがれ、ブラジルに向ったのである。
 フランス軍は、シコノール將軍指揮のもとにホルトガルに侵入したが、皇室救出の聖日リスポンに侵入という、まるでシネマの大活劇を見るような騒ぎであった。
 (この稿づく) 糸 音

セマナリオパトリアデコメモラン

愛国週間の記念シヨウ

去る九月五日午後七時半演芸場舞台に於てS、J中学、州立中学合同のシヨウが行われた。
 一教師の司会で、今やブラジルが世界の大国として隆盛に向いつつある現況を独立祭を迎えるに当って吾々は力つよく愛国心を以て協しなければならぬといふ説き、つづいてシヨウに移った。
 両校出演のシヨウは約一時間にならり、折柄見物席(広場)を埋めた生徒及び見物の喝采を浴びた。
 愛国週間の催しは各地で行われるが、バストスも愛国週間の催しに参加したわけだ。

デサストレはいすれも速力過剰

バストスでは最近になつて自三車事故が追い続いて三件も勃発した。先ヶ月の谷口さん、今月になつて二日の加藤さんのカミニオン、続いて三日の夜梶山さん、谷口さんの場合は舗装路に牛が出た、谷口さんの場合には、加つていたという原因があつたにしても、加藤さんの運転手は、ノロエステからの帰途速力を出し過ぎて横転し、助手は軽傷ですんだが、運転手は即死であつたといふ。

また四日の夜の梶山五郎さんの場合はツパン市から倉本さんの次男夫婦と子供さんをお連れ帰り道、前方を疾走するメルセデスを追い抜いたため、速力を出し過ぎのためハンドルをとられ、シグググとなり、子供さんは扉が開き放り出され、車は顛伏、倉本さんの奥さんは、生命に別状はないが、相当の重傷、他の人もそれぞれ負傷入院中ということだ。
 また、贈を訊いた話で、事故の様子はいくわしくは判らないが、とんだ災難ではあるが、いすれにしても速力過剰が原因のように思われてたうない。
 車が殖えろほどデサストレも多くなるのは当然といえ、それまでだが、もう少し生命を大切に出来たいものだろうか。

御案内

来る九月十六日(日)午前八時より総合会館に於て聖市に挙行される

大河内杯柔道大会出場の汎パウリスタ予選大会を行います。願ひ上げます。

参加出場 マリリア。ボンベイア。パン。バストス。リノポリス。セリア。オクルス。ドラセーナ。団体試合種別。幼々年・準幼年・幼年・準少年・少年・青年の六種別。

主催 聖州柔道連盟
 汎パウリスタ支部

よいラツソンで成績をお上げ下さい。飼料中の最高峰



は必ず成績をあげる飼料です

RAÇÃO DUTRA

前山商店

養鶏飼料部

販賣員

- 佐藤 豊
- 木口 常治
- 藤式 良郎

八月九日(日) 九時半 十日(月) 八時
 東宝 恋の夏
 大然色

ルフリー 小川 知子
 ベルレー 監督 思地日出夫

九月十一日(火) 十二日(水) 両夜とも八時
 東映 ど助平一代
 大然色

三木のり平 浦辺糸子 伴淳三郎
 森光子 夏珠美 佐久間良子
 中村珠緒 フランキー堺 桑原ゆき

九月十四日(金) 八時 十五日(土) 九時半
 東映 血斗乱れ花
 大然色

藤純子 大木実
 津川雅彦 遠藤辰雄
 山本麟一 高倉健

九月十六日(日) 九時半 十七日(月) 八時
 松竹 初笑びびり武士道
 大然色

秋本欽一 穴戸 錠
 嵐寛十郎 田中邦衛

九月十八日(火) 十九日(水) 両夜とも八時
 東映 念佛人斬り旅
 大然色

若山富三郎 真山知子 大木実
 桜町弘子 寺島達夫 菅原文太
 伊藤栄子 睦五郎 遠藤辰雄

Avino de Cine Partos

九月二十一日(金) 八時 二十二日(土) 九時半
 東宝 海軍特別少年兵
 大然色

東宝創立四十五年記念映画超特作 今井正監督(815)シリーズ第六篇
 その時彼らは十四歳、太平洋戦争最大の苦戦地、極端な暑熱に耐えた少年兵三千八百名、

「(キリヌキ) 姑よがんばれ」

瀬戸内 晴美

を全面的に支持してしまふ。
 如の氣に入らない欠点のすべてが息子
 には氣に入るのだから、姑たちは頭にく
 る。

婦人公論七月号に、姑から嫁への反論
 という応募手記が数編のつてゐる。迎頭
 こんな面白い手記を読んだことは無い。
 姑たちは大体五十と、八歳の大正生れ、
 片か一人だけ八十歳のお婆ちゃんがい
 たが、この人が我儘いっぱいで、最高に
 面白い。どの姑のいい分もまったく筋通
 が通つていて、女に生れたからには、姑
 というあわれな存在にだけはなりたくな
 いものだ。あと考え込まれてしまふ。
 このなかには、非難弾知されてゐる嫁た
 ちの共通点は、非難弾が嫌いで下手
 で、ぬかみそは絶対にかきまわさず、イ
 ンスタント食品が大好きである。それは
 驚きだしたくなるほど共通してゐる。
 として姑の息子たちは誰もみな結婚前
 ほどとも優しく、
 お母さんに苦勞をさせてゐるから、お
 母さんの氣に入らぬ嫁さんをもらう、
 て、うんと樂をさせてあげてあげられ
 と、いつて、母を嬉し泣きさせた孝行息
 子たちである。

これらの手記を読むと、姑と嫁とはし
 ません仲良くできなない前世からの仇同士
 でないかと思ふ。
 申し分の無い賢い氣のつく嫁につかえ
 られた八十のお婆あちやまは、あんまり
 出来すぎた嫁をもつと自分はキバを抜か
 れてしまったといつて、かえつて嫁をう
 らんでゐる。
 優しくされれば、されるほど、嫁のは
 んどうのつめたさが伝わつてくるという
 のである。
 嗚呼、こんな無茶ないいがかりは、
 世間には通らない。
 しかし、それが人間であり、姑である。
 私は八十になつても勇敢に嫁を詰上に
 訴えるこのお婆ちゃんに拍手をぶくり上
 げ。
 世の姑さんよ、若いものに負けないで
 団結してガンバレ。
 (週刊誌より)

と、うんと樂をさせてあげてあげられ
 と、いつて、母を嬉し泣きさせた孝行息
 子たちである。
 と、うんと樂をさせてあげてあげられ
 と、いつて、母を嬉し泣きさせた孝行息
 子たちである。

